

よ かんが  
【読む×考える】

34 童話

かいとうれい かいとう  
解答例／解答のポイント

LEVEL 1

かいとう  
解答

a:○ b:× c:○ d:×

LEVEL 2

かいとうれい  
解答例

なかよし森での「平和」とは、いたずら好きのオオカミ「ガルフ」による動物たちへの嫌がらせや、食べ物を盗むことが全てなくなり、森の動物たちが安心して暮らせる状態だと思いません。

かいとう  
解答のポイント

- ガルフがいたずら好きで、森の動物たちを困らせていたこと、「なかよし森に平和が戻り」の段落の直前の「二度といたずらしないことを約束しました」に注目しましょう。

LEVEL 3

かいとうれい  
解答例

ガルフはいいオオカミになったが、まだ森の動物たちに避けられていた。コンタはガルフにみんなのための大きな滑り台を作ることを提案した。ラビが飾り付け、バリーが安全確認役になった。完成した滑り台で森の動物たちは遊び、ガルフは森の仲間になった。

かいとう  
解答のポイント

- 物語で書かれている事実や、登場人物の性格を踏まえたアイデアであれば、どんなものでもかまいません。
- いたずらをやめていいオオカミになったガルフの立場を考えてみましょう。今までたくさんの動物たちを困らせてきたのですぐに仲良くなれるとは考えられません。そこで頭のいいコンタが何を提案するのか、そしてラビやバリーが何をするのかを考えるとよいでしょう。